

とよなか

(部内資料)

教え子を再び戦場に送るな！ 2018年12月19日発行NO. 597

子ども達の豊かな成長に力を合わせるようにしましょう！

豊中の教職員からも

文科省へパブリックコメントを

「夏休みも部活がぎっしり。閑散期などない」「一日の勤務時間が長くなれば、保育園の送り迎えをどうしたらいいの」「こんな怒りや悲鳴があがっています。」

長時間労働の改善は教職員を増やすこと！

現在の長時間労働の実態を何ら改善することなく、「変形労働時間制」を導入することで、データ上の「長時間労働」を解消しようとしています。長時間勤務の実態を改善するために、

定額働かせホーダイ 教職員働き方改革

中央教育審議会(中教審)が「長時間過密労働を解消するため」として「変形労働時間制」の導入を提言しました。

文科省はこれを受けて、パブリックコメントを募集しています。FAX、郵送、電子メールなどで提出できます。提出期限は

12/21
まで

中教審答申素案をまとめると

- ・始業ギリギリに来て
- ・昼休みと掃除時間の子どもの管理は教師以外のボランティアに任せて、
- ・校務支援ソフトを導入して
- ・勤務時間を年200日か160日か120日1時間ずつ延ばして
- ・時間外にかかってくる電話を取らなければ、

教師の超過勤務はなくなります。

※ これからの教育を考える「きっかけ」をつくる会サイトより

- 持ち授業時間を減らす！
- 30人、35人の少人数数学級にする！
- 教職員を大幅に増やす！

学習指導要領が授業負担を増やし続けてきた



atarakikatato - s
hin@next.go.jp

ことではないでしょうか。次のアドレス、裏面の「つくる会」のチラシQRコードからも意見を提出することができます。直接、声を届けましょう！



上記アドレスからの場合は、判別のため、件名「働き方改革答申素案に関する意見」とします。

